

IV. 平成27年度 競技本部報告

1. 競技団体としての組織運営の充実・強化

- 1) 国体選考に向けて、国体委員会を設置しました。これにより選手選考及びエントリー作業はスムーズにできました。
- 2) 総務本部と連携を密にして事業を実施することができました。
- 3) 新たに専門員を補強して、組織の充実を図りました。
- 4) 所属加盟団体との意見交換を行うことで、大会の充実を図りました。
- 5) フラグ、ポール等の必要な物品の購入計画を行いました。

2. 事業運営の改革

- 1) 事業運営、人員配置に気を配り、大会運営の安全を図ることができました。
- 2) 適材適所の役員配置で、スムーズな運営を行いましたが、チャレンジCUPにおいてはレースオフィスの役員に不足がありました。
- 3) 新設された大会では業務委託を実施して、スムーズな運営を心がけました。
- 4) 国体等で総務本部との連携強化を図ることができました。
- 5) SAJジュニア公認大会の新設することができました。
- 6) マスターズ第1戦の大会会場及び日程変更しましたが、雪不足のため中止になりました。
- 7) 県選手権の日程を変更しましたが、雪不足のため中止になりました。
- 8) 社会人の参加がより容易になるように、国体選考大会の日程を変更しました。
- 9) ジュニアスキー大会第1戦の日程を、国体選考大会と合わせて変更しました。クロスカントリー競技会の運営を関東ブロックでの運営の検討しましたが、まだ合意に至っていません。

3. 他団体との連携強化

- 1) 県体協との連携を密にして、ジュニア育成・選手強化を実施できました。
- 2) 役員派遣、用具のサポート等、高体連との協力を強化できました。
- 3) 新たな大会を新設する等、南関東ブロック、関東ブロックとの連携を強化し、行事運営・選手強化を実施しました。

4. 人材育成への取組

- 1) 各分野のスペシャリストを複数育成することが、まだ十分ではありません。
- 2) 県体協との連携等により、国体の入賞を目指した選手の育成を試みました。
- 3) 国体の監督資格の取得者を若干名増やしました。